

倉敷市(岡山県)の一体的実施① 平成23年10月3日事業開始

市が生活・就労相談で得た求職者の「求職ニーズ」や倉敷市勤労者福祉サービスセンターが得た事業所の「求人ニーズ」を活かして、「ワークプラザたましま」においてハローワークが地域の実情に即した求人開拓、職業紹介を実施

市

国

生活相談の実施、
事業所への訪問・支援等

求人開拓、職業紹介の
実施等

① 事業内容

事業主と面談する就職支援ナビゲーター

- ・市は、生活・就労相談を実施
- ・倉敷市勤労者福祉サービスセンターは、事業所を訪問して各種支援を実施
- ・相談・支援で得た求職者のニーズや事業所のニーズをもとに、ハローワークが求人開拓や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・倉敷市長、センター理事長及びハローワーク倉敷中央所長の協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を倉敷市とハローワーク倉敷中央の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。

③ 運営協議会

- ・倉敷市、センター及びハローワーク倉敷中央で構成する運営協議会を設置。

市が収集した「求職ニーズ」や「求人ニーズ」を基に、ハローワークが求人開拓や職業紹介を実施することで、地域の実情に応じたきめ細やかな支援が実現

(1) 実施体制

市

- ・ 住居・生活支援相談員1名を配置
- ・ 地区担当推進員1名(倉敷市勤労者福祉サービスセンター)を配置

国

- ・ 職業相談員3名、就職支援ナビゲーター1名を配置
- ・ 求人情報提供端末6台、職員紹介端末3台を配置

(2) 事業目標と取組状況

	令和6年度 事業目標	取組状況(6月末時点)
求職者への 職業紹介	◇就職件数 510件	◇就職件数 129件
	(参考)令和5年度目標 ◇就職件数 525件	(参考)令和5年度実績 ◇紹介件数 計 1,333件 ◇就職件数 計 517件
求人開拓	◇開拓求人数 1,741人	◇開拓求人数 382人
	(参考)令和5年度目標 ◇開拓求人数 1,782人	(参考)令和5年度実績 ◇開拓求人件数 計 1,156件 ◇開拓求人数 計 1,932人

※ 平成23年度は、「ワークプラザたましま」を拠点とした求人開拓機能について、一体的実施事業として事業目標を設定して実施
平成24年度からは、職業紹介等も含めた「ワークプラザたましま」での職業紹介を含む事業全体を一体的実施事業として位置づけ、
事業目標を設定して実施

一体的実施事業による就職成功例

男性：60歳代 希望職種：軽作業
生活困窮者 倉敷市生活自立相談支援センターから就労支援対象者として支援要請

① 抱える課題

- ・紡績関連工場で15年正社員として勤務したが、母の介護の為退社。7年の自宅介護の末、母は死去。預貯金もわずかとなる。就職活動を開始したが、高齢と運転免許が無い点、人見知りする性格が障壁となり不採用が続く。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・求人検索端末を使用した検索活動のみでは、本人の特性に合った求人を選定することが困難な為、就職支援ナビゲーターが玉島地区の求人を中心に応募候補求人を選定、本人に情報提供した。
- ・人見知りする性格が災いし、希望求人があるものの応募に踏み切れないケースがあった。本人の不安を取り除くため、事前に求人事業所へ職務内容の細部や他労働条件の細部を聴取。本人に情報提供した。
- ・週1回の定期面談には必ず倉敷市生活自立相談支援センターの相談員に同席いただき、応募候補求人の賃金条件が本人の安定した生活を維持できるものか三者で検討を行った。

③ 結果

- ・応募事業所の採用担当者にワークプラザたましまに来所いただき、就職支援ナビゲーター同席で採用面接を実施した。本人の面接への不安を取り除き、面接中、本人から事業所への回答に、就職支援ナビゲーターが補足を行うことにより、事業所は本人に対する理解を深めた。また特定求職者雇用開発助成金について説明を実施。面接後、まもなく事業所より採用の連絡をいただいた。

○ ハローワーク担当者の所感

- ・本人、ワークプラザたましま、倉敷市生活自立相談支援センターの三者で常に情報共有を図り、本人の就職活動、今後の生活に対する不安を払拭できた。
- ・選考の場にハローワークが入ることで、本人、事業所の相互理解を深められた事が採用の決め手になった。